

## 青年部会設立20周年記念事業の開催

平成30年9月21日（金）      オリエンタルホテル

第1部      記念講演会                      第2部      記念祝典

青年部会が本年設立20周年を迎え、9月21日、神戸市中央区のオリエンタルホテルにおいて、20周年記念事業を開催しました。

青年部会は、部会員が将来の業界のリーダーとして活躍できるよう、お互いの研鑽と親睦を図り、電気設備業界の課題や技術上の問題に関する調査・研究などについて若手ならではの自由で新しい発想で取り組むことを目指して、平成10年に発足しました。

現在、山口部会長を中心に会員44名が一丸となって、青年部会設立の趣旨である自由で新しい発想のもと、県設備課との懇親座談会や施設見学会の開催、1・17ひょうごメモリアルウォークなどへのボランティア参加や親会である電業協会行事のサポートなど幅広い活動に積極的に取り組んでいます。

若年者の入職が進まず、職員の高齢化と人手不足が深刻化するなど、業界を取り巻く課題が複雑、困難の度合いを深めるなかで、それらの課題を解決し、業界が今後ますます発展を続けるためにも、青年部会の役割に対する期待は大きく、さらなる活動の充実が求められています。

このたびの記念事業は2部構成で、第1部は、元日本ハムファイターズ内野守備走塁コーチ兼作戦担当の白井一幸氏を講師に迎え、「一流の組織であり続ける3つの原則」と題した講演が行われました。

第2部は、会場を移して記念祝典が開催され、兵庫県から奥原まちづくり部長様をはじめ出野上住宅建築局長様、設備課の古川課長様、郡副課長様、城嶽副課長様、兵庫県議会から協会顧問である松本議長様、安福議員様のお二人、また、大阪電業協会と京都電業協会からそれぞれ青年部会の役員の方々など多くのご来賓の皆様のご参加をいただきました。

祝典は、主催者を代表して山口部会長のあいさつ、小山協会会長の祝辞の後、来賓を代表して奥原兵庫県まちづくり部長様からご祝辞をいただき、松本兵庫県議会議長様のご発声で乾杯、祝宴に入り、多くの来賓の方々に青年部会員、協会役員や青年部会OB、賛助会員なども加わって、これまでの青年部会の活動を振り返る映像の若々しい姿や歴代部会長の当時のお話に大きな歓声のあがるなか、思い出話にも花が咲き、小山青年部副会長による閉会のごあいさつまで、和やかでにぎやかな歓談が続きました。

[山口青年部会長あいさつ]

本日は、兵庫県から奥原まちづくり部長様、出野上県土整備部住宅建築局長様、古川設備課長様、郡副課長様、城嶽副課長様、県議会からは、松本県議会議長様、安福県議会議員様、また遠方より大阪電業協会、京都電業協会の皆様方、そして、平素より青年部会の事業並びに運営に対して絶大なるご支援ご指導をいただいております兵庫県電業協会の役員、賛助会員の皆様方にはお忙しいなかご臨席を賜り誠にありがとうございます。心より厚くお礼申し上げます。

さて、平成10年、1998年に設立された青年部会も、おかげさまで20年という節目を無事に迎えることができました。これはひとえに歴代の諸先輩方やここにおられる皆様の日頃のご支援があったからこそ、今日という記念すべき日を迎えることができたと深く感謝しております。20年前に32名でスタートした青年部会は、大手脱退による縮小化、それに伴い部会自体が存続の危機に瀕するなどの紆余曲折を乗り越え、現在では44名という組織になり、その間限られた予算の中で様々な事業に取り組んでまいりました。2001年より長年継続させていただいております県設備課様との懇親座談会をはじめ、10周年以降では、大飯原発やスプリング8などの施設見学会、黄檗宗大本山萬福寺での座禅研修、そして2013年からは阪神淡路大震災を風化させない「1・17ひょうごメモリアルウォーク」でのボランティア活動に毎年参加しております。

ここで我々の業界に目を向けてみますと、私見ではありますが、電気設備業界の先行きは明るいと考えております。2020年東京オリンピック、まだ未決定ではありますが2025年大阪万博などが控えており、それに加え、設備の老朽化によるリプレース、AI・IoT・ロボティクスなどの技術革新が、あらゆるものがインターネットにつながる時代がもうすぐそこまで来ています。われわれ電気設備業界としてはますます活躍の場が広がっていくのではないのでしょうか。

しかしその一方で、課題が多くあることも事実です。先日の台風21号による大規模被害、関西電力や関西国際空港も大きなダメージを受けました。私の会社も復旧まで二日半を要し、あらためて「電気」というライフラインの大切さを痛感させられました。そして、有事の際に電気に携わる我々に何ができるかを非常に考えさせられた数日間であったように思います。

また近年では、少子高齢化による担い手不足問題、働き方改革など、我々は非常に大きな壁に直面しております。電気設備業界の認知度向上、若者の入職促進、女性技術者の採用と育成など、これらの課題に対して青年部会の設立趣旨である「自由で新しい発想」を念頭に置き、ますます部会員相互間のコミュニケーションを活性化させ、これからの難しい時代に立ち向かっていかねばならないと、私自身決意を新たにしております。

私たち青年部会はまだまだ若い。その若さを前面に出し、これからも志を高く、夢と可能性に大きく希望を膨らませながら一步一步前進していきたいと思っております。

最後になりましたが、この時代を築いていただいた歴代の諸先輩方のこれまでのご貢献

に感謝を忘れず、また本日、ここにお集まりの皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、設立20周年記念祝典開会のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。



白井一幸氏の講演



部会長、副会長、各委員長



会場の様子



初代部会長の大川理事と山口部会長



最後に記念撮影